



2019年6月8日～2019年6月14日

2019年6月17日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。下院特別委員会に提出された年金改革法案が好感されました。一方米国の好調な経済指標を受けて米ドル高が進んだことで、ブラジル・レアルは対米ドルで下落しました。

提出された法案の歳出削減規模が9,134億レアルと政府案の1.2兆レアルに近い数字であったこと、加えて労働者支援基金の一部を社会保障費に組み込む案が提示され、仮に認められれば総計で1.13兆レアルの歳出削減が見込まれることが好感されました。

経済指標に関しては、4月の小売売上高や経済活動指数などが発表されました。小売売上高、経済活動指数ともに市場予想を下回る内容となりました。足元の弱い経済指標を受け、政策金利の年内引き下げ予想が目立ち始めました。

今週の見通し

今週は、ブラジル中央銀行から政策金利の発表が予定されています。市場予想は現状の6.5%で据え置きとなっていますが、足元の経済状況を受けて、利下げが検討される可能性もあるため注目です。

また、足元ブラジルではモロ法務相をめぐるスキャンダルが注目されています。モロ法務相の判事時代における、検事との癒着疑惑に関するもので、足元での市場の反応は限定的ですが今後の動向を注視していきたいと思えます。

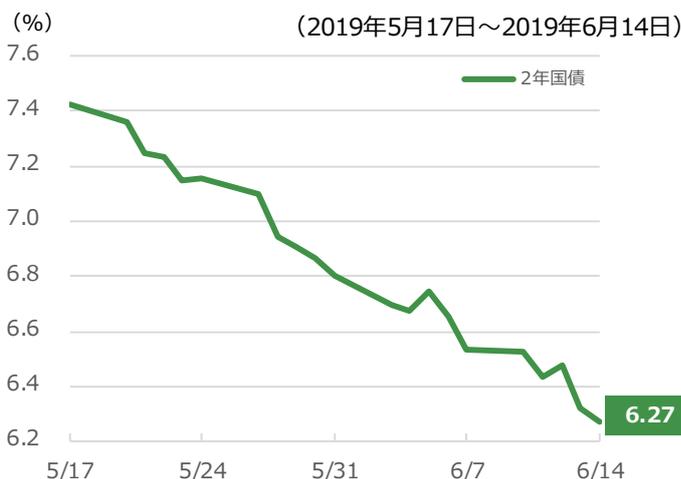
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。